

# のうきよう ちがしづ



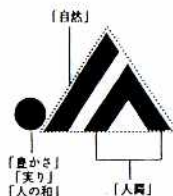
'92

4 No.208

# 農協の愛称が

# 「JA」に変わります

みんなに愛され開かれた農協づくりに!!



四月一日から全国一斉に農協の愛称が「JA」（ジェイエイ）

Japan Agricultural

Cooperatives

（日本農業協同組合の略）に変わります。

二十一世紀にむかって、世の中が大きく変化していくなか、今ほど農協の存在そのものの意義、その価値などについて、明解な認識を持つことを必要としている時期はありません。

このJAマークは、それら新たな農協像、目標像、それに向かってまい進する姿勢などを配慮しつつ、幾何学的な直線の構成による、安定感をもった存在感あるシンボルになっています。この新しいマークが力を発揮し、開花していくには、組合員、役職員の皆さんの力添えが必要です。

この農協の新しいマークを愛し、

慈しみ、力を合わせて大きく育てていきましょう。

JAマークの意味について

全体として三角構造の安定感あるデザインは、「ゆるぎない大地」

「日本の国土」をイメージさせ、

三角形は「自然」、Aの部分は「人間」をあらわしています。

さらにJの左端の円は、「農業の豊かさ」「実り」と、協同の精神に基づく「人の和」を象徴しています。

（このJAマークは、それら新たな農協像、目標像、それに向かってまい進する姿勢などを配慮しつつ、幾何学的な直線の構成による、安定感をもった存在感あるシンボルになっています。この新しいマークが力を発揮し、開花していくには、組合員、役職員の皆さんの力添えが必要です。）



JA 中標津

中標津町農業協同組合

〒086-11

北海道標津郡中標津町東7条南2丁目1番地

TEL : 01537-2-3275

FAX : 01537-2-0175

## シリーズ私の趣味No.52

バイクには隠れた魅力がある ●伊東 武

コミュニケーションみんななかま

営農技術 サイレージの管理方法

●北根室地区農業改良普及所

わが家の人気者 彩はファミリーの中心

加工原料乳保証価格などすべて据え置き

自分たちの組織を考える

地区別懇談会報告

理事会の経過

暮らしの知恵袋 今年の自家野菜づくり

●北根室地区農業改良普及所

特集① 脳力アップに役立つ

今月のフォトアルバム

3 4 6 8 10 12 14 15 16 17 18

# バイクには隠れた魅力がある

今年は、二月十日からバイクに乗り始めたという伊東さん。バイクが好きで好きでたまらないと言う。

人には、年齢も年だし、四輪の大型乗用車にでもゆったり乗っていればと言われる。しかし過去にはセンチューリーなどの乗用車に乗っており、大型乗用車の良さも充分知っている。それでもバイクが良いという。バイクには乗っている人にしかわからない、隠れた魅力

力があるようだ。

そもそもバイクは、伊東さんの青年時代から自転車に変わる人の足としてあったわけですが、その頃は機械化されていない農作業で、時間的ゆとりや、金銭的余裕がなく、バイクなんて乗りたくても乗れなかった時代。しかし今は、経営も息子(信一さん)に移譲し、けっこう自分の時間が作れ、多少のゆとりも出来た。でも、バイクに

## 私の趣味

52

伊東 俵中

武さん(66歳)



乗る一番のきっかけとなったのは、知人の奥さんがバイクの免許を取得し、バイクを乗りまわしているのを見てからだそうです。何となく眠っていた気持ちを起こされたかのよう。今乗っているバイクは、ハーレーダビッドソン一、三四〇cc、バイク好きなら一度は手にした車種だという。その他にもカワサキ七五〇cc、ヤマハ五〇〇ccと同じく一二五cc、ホンダ五〇ccと何と五台ものバイクを揃えている。この中でもやっぱりハーレーが一番お気に入りとの事。

普段のツーリングは釧路、根室管内を主流に走るが、天気が良く気が向けば旭川くらいまで走って

家族全員  
での  
ツーリング  
を夢みて

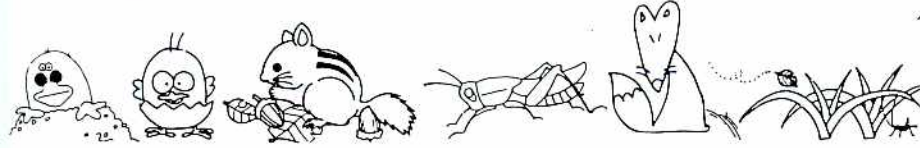


しまうという。今までにも六七回は旭川まで行っている。「バイクに乗ると気持ちが十年も二十年も若返る。それと体力作りと、とつさの判断力、敏捷性を養う事が出来るんです。バイクに乗っている事で、老化スピードはかなり遅くなると思うのですが」と話す伊東さん。これからは、今あるバイク(五台)に家族全員が乗り、一緒にツーリングに出かけたいと夢服らます伊東さんでした。



愛車のバイク5台と共に

# ななかま



## 乳価をめぐる攻防激化

## 引き下げたい農水省

生産コスト  
上昇で  
農家反発も

北海道新聞、日本農業新聞では、九二年度の加工原料乳保証価（農家手取り価格）について、大きく報道しているが、朝日新聞、日本経済新聞は小さい記事で、取上げ方に違和感を感じる。乳価決定前の日本経済新聞より次の「乳価をめぐる攻防激化」を転載いたします。

コメや麦など九二年度の農産物の政策価格決定の第一号となる乳価（加工用原料乳の価格）交渉が来週、大詰めを迎える。農業団体や自民党が引き上げを要求しているのに対し、関税貿易一般協定・多角的貿易交渉（ガット・ウルグアイ・ラウンド）で乳製品の輸入自由化を迫られる農水省は、乳価の引き下げで内外に農業保護削減の姿勢を示したいところだ。ただ、価格決定の目安となる牛乳の生産コストが四年ぶりに上昇、農水省は新ラウンドと生産コスト上昇の板ばさみで対応に苦慮している。

「乳製品の輸入自由化を突っぱねている手前、乳価を下げねば新ラウンドで日本が批判の矢面に立たされる」農水省内のガット交渉担当者から、こんな悲鳴に似た声が聞かれる。というのは、同省がここ数年乳価引き下げの根拠としてきた生産費が、今回は前年比で八・五％と大幅にアップし、乳価下げに黄信号がともったためだ。

同様に、大蔵省も「その年の政策価格動向を占う乳価下げが実現しないと、夏場の米麦価の引き下げ交渉も難しくなる」と懸念を表明。何とかして乳価引き下げを実現、財政負担を減らしたいところだ。

一方、ここ数年「静かな戦い」を進めてきた全国農協連合会（全農）は、一転して強硬姿勢を表明。従来の「据え置き」要求を生産コ

ストの上昇を盾に、七年ぶりに「引き上げ」に転換した。酪農品の産地である北海道の自民党議員も、「今年は乳価下げに歯止めをかける良い機会」ととらえ、農水省に圧力をかける構えだ。自民党内では夏の参院選をにらみ、農民票を無視できないと農産物の政策価格引き下げ方針の見直しを求める動きもある。

このため、乳価交渉は近年になり激しい攻防を演じそうだ。最終的には、「据え置き」や「引き下げの見返りとしての特別助成制度の導入」などが交渉の落ち所として浮上する公算も出ている。



# みんな、

仲間・はなし



四十歳にして、  
毎日が勉学の60日間

農協学校中堅職員研修会に  
参加して

加藤 一二

四十歳を間近にして、学生時代にも経験しなかった、寮生活をしなごらの勉学の毎日、二カ月間!! 全道より三十三農協四十人が、農協職員としての知識を吸収するため、農協学校中堅職員研修会に参加(参加者は二十一歳〜四十七歳、平均二十九歳)。

第六十期生となる今研修会は、一月十七日〜三月十八日まで、江別市文京台の農協学校において九時〜十七時まで、毎日が学生。

十代、二十代頃(学生時代)と違うのは、記憶力、暗記力の低下を痛感させられたことです。このよな事を言うと先輩達に、なにを言つとるか!!と言われそうであるが、今回参加している若い彼らは授業中に聞いて書いて、テスト前に二〜三時間も勉強するだけで高

得点を取っているのである。僕達は覚えるのに倍以上の時間を必要とする、しかし忘れるのには短い時間でするような気がします。今回の研修会で、心に残っている言葉(名言)がいくつかあります。その一つを紹介したいと思います。



研修を終えて一息、でもゆでガエルにはならないと加藤さん

とはしない、それゆえ熱くなっても出るすべを知らず、ゆでガエルになってしまふ、しかし熱い湯の中に生きたカエルを落したならば、反射的に飛び出すことができる、皆さんも今置かれている環境で、

ゆでガエルになりかけてはいませんか?

今回の研修の中で六十日間寮生活を提供した仲間達、これからも同じ農協職員として交流を深め、色々な情報交換をして行きたいと思えます。

今研修会が極めて有意義で充実した内容でありました事を報告し、数多くの職員に研修の機会を与えて欲しいと思えます。



# サイレージの 管理方法

サイレージは、粗飼料の基幹をなすものですが、発酵品質によっても採食量は大きな影響を受けます。

## ○サイレージの原理

サイレージは、基本的に二種類の要素から構成されています。つまり、細断された植物原料（生きている死んでいる植物細胞と液汁）と微生物（バクテリア、カビ、酵母）から成り、好気性状態と嫌気性状態が存在しています。

好気性状態は、初期の状態であり酵素が存在する限り行なわれます。植物原料の呼吸や好気性菌により酸素を利用し、植物中の糖を利用し熱、二酸化炭素、水が生産されます。この状態は酸素が消費されるまで続き、多量のエネルギーが使われます。

嫌気性状態は、酸素が消費されたのち、嫌気性菌によって植物中の炭水化物を利用して乳酸や酢酸

などの有機酸を生成します。酸の生産割合と量は、原料の水分含量と

水溶性炭水化物の利用性によって左右されます。酸の濃度が高まるにつれて微生物の活動が低下しはじめ、pHがおよそ三・八〜四・〇

で酸の生産、微生物の活動は停止します。この時点でサイレージができ上がり、外気の侵入がない限り微生物が活動することはありません。

## ○サイロ管理の原則

サイロ管理の要点は、空気の排除です。できる限り早くサイロ内から空気を排除して、その状態を保つことです。「開放型」サイロにおける空気の排除は、主にサイレージの密度に左右されます。次に作物の種類、成熟度、水分含量

切断長、サイロへの詰め込みスピード、原料のサイロ内分配方法と密封方法によって左右されます。

## ○良いサイロ管理方法

飼料中の栄養を最大限に貯蔵するためには、次の点に注意する必要があります。

① 最適な生育ステージと水分含量で収穫する。

イネ科牧草では、出穂始め、水分七〇%前後に予乾することが望ましい。

② 短かく切断する

切断長は、踏圧が十分かかりサイレージのほとんどが細断された原料から成ることが条件となります。

③ 継続してすばやくサイロに詰め込む。

すばやく詰め込むことによりロスが少なくなり嗜好性が良くなります。また、詰め込み時間が長くなると酵母の数が多くなり、二次発酵の原因となります。

④ 平らにならして完全に密封する

⑤ 適正量のサイレージを取り出す

## ○牛がサイレージを食べたがらない時

一般的なサイレージの問題を次に示しましたので、次回の調整時に改善するための参考にして下さい。

## 営農資材課情報

サイレージ調整・TMRに強い味方

キツコーマン  
フレッシュユミール

## 一、特徴

○ 消化、吸収が良い

原料の大豆、小麦をそれぞれ一六〇℃、三〇秒で蒸す炒るの加熱膨化しています。

○ 塩分を節約できる

七カ月以上もかさねた、塩なれたフレッシュユミールは塩分五・三%です。

○ 長期保存ができる

ポリエチレン（二〇〇℃、ヒートシール）十紙二層の三層袋で、三〇℃恒温室での六カ月保存テストでも変質はありませんでした。

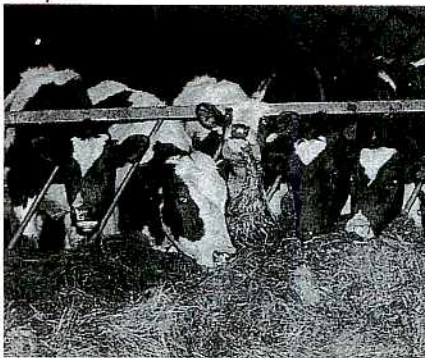
二、デントコーン・グラスサイ

レージへの添加

○ 原料一対一に対して、フレッシュユミール三〜四袋を混合すると

一般的なサイレージの問題

具体的症状	考えられる原因
熱をもったサイレージ (120°C以上)	熱は、活発な呼吸やイースト／カビ／細菌集団の発育に伴って発生する、酸化反応によっておこる。時間がかかるサイロ詰め、空気のもれ、時間をかけての取り出し、低水分、過剰成熟生物、長すぎる切断長、均一性と踏圧の悪さ。
キャラメル化したコーンサイレージの中の穀粒の茶褐色化。タバコのような臭いのする、色が濃くなったヘイレージ	過剰なヒート・ダメージの兆候。サイレージの中に余分な酸素が封じ込められることが原因。低水分含有量、長い切断長、踏圧の悪さにもよる。
カビの生えたサイレージ	カビは酸素と糖分が存在すれば育つ。高いイースト／カビのストレスを受けた積載分のサイロ詰め、時間がかかったサイロ詰め、時間をかけての取り出し、長い切断長、低水分、踏圧の悪さが原因。
腐敗した牛乳の臭い	一般的には、酪酸の生産にとまなう嫌気性発酵が原因。高い水分含有量、低い植物糖分、正しい発酵のために不適当な乳酸菌によってもたらされる。
酢の臭い	発酵が、糖分を酢酸(酢)に発酵させる細菌によって行なわれる。水分の多いサイレージ、不適当な乳酸菌、低糖分によって促進される。
アルコール臭	発酵が、糖分をアルコールに発酵させるイーストによって行なわれる。イーストは乳酸を代謝することもできるので、サイレージのPHを高め、条件を他の腐敗菌が育つのに好ましいものにする。ゆっくり取り出される乾いた踏圧の悪いサイレージに問題がある。
凍結したサイレージ	高い水分含有量、活発な呼吸、あるいは損傷を受けた作物細胞が原因。縦型サイロでより多く発生する。
飼槽での保ちの悪さ	時間をかけての取り出し、高いイーストあるいはカビの集団、特にストレスを受けた作物、低水分、踏圧の悪さ、成熟が進んだ時にサイロ詰めされた作物の低い糖分が原因。
水分のしみ出し／流去	高すぎる作物の水分、細胞を破る原因になる鋭利さに欠けるチュッパールのナイフ、細胞の損傷を起こす詰めすぎが原因。
摂取の悪さ	多くの因子が原因：嫌気性発酵、高いアンモニア窒素含有量、水分が多すぎたり、乾きすぎたサイレージ、高繊維(成熟した作物)、カビの汚染、有毒性を持つ雑草あるいは硝酸塩。



品質、歩留り、栄養化が高まり嗜好性が向上します。

- バンカー、スタックサイロなど、壁面に接する部分には大目に混合する。
- 嗜好性の悪いサイレージでもフレッシュミールをまぶして給与すると、嗜好が高まりサイレージがムダになりません。

三、価格

- 十五匁(紙袋)三八〇円
- 四〇〇袋ロッド
- 四五十匁フレコンバック詰

七、九〇〇円

四、総発売元

株式会社 千秋社  
問い合わせは―農協管農資材課へ。

# わが家の人気者!

彩は  
ファミリーの  
の中心

当幌地区  
山田 昇・栄子さんご夫妻  
長女 彩ちゃん(2歳)

最近人見知りをする様になり、お客さんが来た時にはカーテンの所で泣きだしたり、お母さんにピツタリくっついてしまうというのは山田彩ちゃん。  
今、彩ちゃんは山田ファミリーの中心。ごはんの時には家族の箸茶碗をテーブルに並べたり、台所の洗い物の手伝いをするおりこうさん。  
でも以前大変な事をやらかした。みんながちよつと彩ちゃんから目を離れたときに、自分で茶碗とごはんのへらを持ち出し、ジャーからごはんを山の様に茶碗に盛り、食事の手伝いどころか部屋中ごはんだらけにしてしまったという。



彩はハサミも上手に使えるのよ

しようとする所は、やっぱり女の子なんです、と話すお母さんの栄子さん。

また、電子レンジをいたずらし、台から落としてしまうとか、気が付いた時には彩ちゃんを怒るところか、みんなあ然としてしまう。けっこう家ではわんぱくさんみたいです。  
こんな彩ちゃんもお母さんや、おばあちゃんのを髪をくして梳したり、お化粧のまね事を

近ごろは鉛筆で何か書いたり、ハサミを使って紙を切り、出来た事を知っているかぎりの言葉と、ジェスチャーで表現するそうです。  
今、外では遊べないが、雪が解けたらお気に入りの三輪車とおじいちゃんが買ってくれたキリンさんのブランコで、遊ぶ事を楽しみにしている彩ちゃんでした。



ちよつとあまえて、やっぱりお母さんが大好き



同日

### 第三回中標津ジュニアホルスタインクラブ定期総会開催 第五回スプリングスクール及び親子ボーリング大会開催

去る三月二十八日午前十時より、農協大会議室におきまして、会員四十五人、父母及び関係機関三十三人、計七十八人により第三回の定期総会を開催致しました。



て、第五回スプリングスクールを開催。講師、北海道家畜改良事業団・遠藤正彦氏による乳牛の見方、スライドによるジャッジングコン

総会は、進藤松吉町長と児玉光彦組合長よりあたたかいご祝辞を頂き、長正路清議長の進行により無事終了することが出来ました。

今年のおもな活動としては、四月二十六日乳牛改良同志会の協力を得まして、スプリングスクール開催、八月上旬第三回サマースクール、九月五～六日全道ジュニアホルスタインクラブ酪農教室参加、九月下旬ジュニア秋の収穫祭などを計画しております。

総会の議事進行中会員は別室に



このジュニアたちが将来、中標津ホルスタインを引っばって行く！

## 乳牛の見方、農業の基礎知識学ぶ



何事にもやる気充分のジュニアたち

大いにもりあがった  
親子ボーリング大会

テスト、また、なるほどザ・うぎょうと題して、クイズによる農業の基礎知識の学習を行いました。

また、総会及びスクール終了後、親子ボーリング大会を開催。初めてゲームをする会員、また、小学生ながら父母より上手な会員など、ボーリング場全レーンを借りきっての楽しい大会となりました。

中標津ジュニアホルスタインクラブ新運営委員並びに新リーダー紹介。  
運営委員長・佐々木昭雄・副委員長・安田稔・監事・中司哲雄・監事・斉藤一美委員・遠藤正幸・弾正原正滝場慎二

リーダー・林直樹・サブリーダー・遠藤恵・地区リーダー・筒井美香・佐藤友紀・山本大・斉藤亜美・松本恵・青山智和。また、全道ジュニアホルスタインクラブ運営委員会連合会会長に、佐々木昭雄委員長が選任されました。

# などすべて据え置き

## 乳価1円引き上げ 76円75銭、限度数量240万ト

平成4年度の畜産物政策価格は、最大の焦点となっていた加工原料乳の保証価格が、実質的にキロ当たり対前年度比1円の上積みで決着した。

これは、保証価格そのものは、据え置きとなったが、関連対策の中に、酪農経営安定等緊急特別対策事業として、キロ当たり2円の奨励金（3年度に高品質生乳生産緊急確保事業として実施されたキロ当たり1円の交付は廃止）が盛り込まれました。

牛肉の輸入自由化の影響で、ヌレ仔価格や廃用牛、肥育牛の枝肉価格などが低迷したことから、酪農家の副産物収入が減少し、生乳生産コストは八・五%上昇しているが、労働時間の短縮、飼料費、建物費、農機具費が下がり、それに規模拡大による合理化メリット、金利の引き下げ等を試算したこと、その一方で、ガット・ウルグアイ・ランド（新多角的貿易交渉）、国際交渉の影響、内外価格差の縮小などから、結果的には基本乳価は据え置くものの、前年同様に、関連対策として実質的に乳価に上積みすることに決着した。

畜産関連対策に三七六億円  
（うち酪農関係一九四億円）  
チーズ基金を二年継続

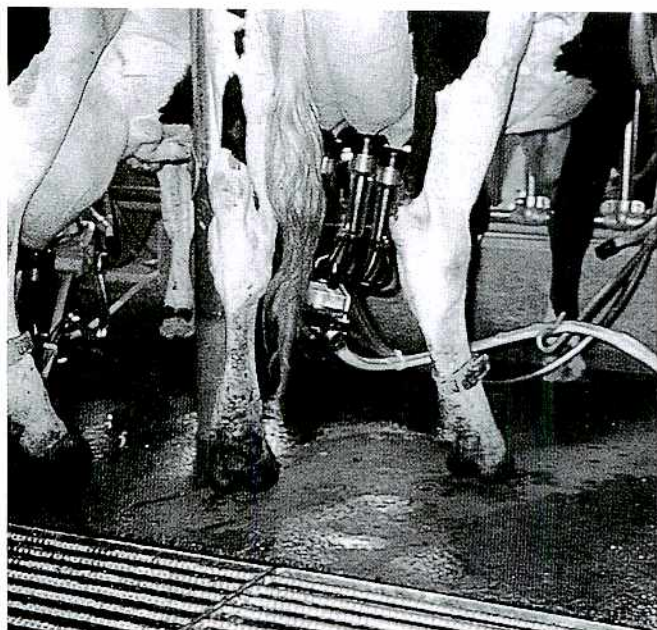
酪農関係では経営安定対策に九十二億円を付け、ヌレ仔対策に大幅に拡充し、酪農家の経営を支えたヌレ仔が牛肉自由化の影響で低迷しているのを補うもので、育成、肥育の奨励金単価大幅アップ、農協などの委託売却の推進など販売力強化のソフト事業を実施する。昨年末に実施した初妊牛出荷、導入の助成措置も継続し初妊の滞留に対応したもので、新規の酪農経営安定等緊急特別対策は、総額四十八億で加工原料乳二百四十万トンに交付される。単価はキ

ロ二円で、これに伴い高品質生産奨励金二十四億円（キロ一円）は廃止。この結果、差し引きの農家実質手取り乳価はキロ一円の引き

平成4年度 加工原料乳保証価格

		3 年 度	4 年 度 対前年度増減率
保証 価 格		76.75円/kg	76.75円/kg (0.0%)
基 準 取 引 価 格		65.40円/kg	65.40円/kg (0.0%)
限 度 数 量		240万ト	240万ト (0.0%)
安定指標価格	バ タ ー	1,051円/kg	1,051円/kg (0.0%)
	脱 脂 粉 乳	12,663円/25kg	12,663円/25kg (0.0%)
	全脂加糖れん乳	8,055円/24.5kg	8,055円/24.5kg (0.0%)
	脱脂加糖れん乳	7,193円/25.5kg	7,193円/25.5kg (0.0%)

# 加工原料乳保証価格



## 関連対策で 1kg当り

上げとなる。ただ「四年度限りの臨時異例の措置」と明文化されており、五年度の乳価決定時に議論となるのは必至です。

### 【酪農関連対策】

#### 酪農経営安定対策事業

##### 一、初生牛対策

(一)酪農家が生産した初生牛の自家哺育、育成、肥育を行なう場合に

助成

● 現行「乳肉複合経営体質強化事業」を見直し、哺育、育成に係る各助成単価を引き上げ。

● おおむね一月以上の哺育三、五

〇〇円→七、〇〇〇円(拡充)

● 四月齢以上の育成八、〇〇〇円

↓一、二、〇〇〇円(拡充)

● 十二月齢以上の肥育一六、〇〇〇円

〇円

(二)酪農家が初生牛を集団で哺育・育成する場合に助成

● 個別経営では取組み難い場合における酪農家の集団化による哺育・育成に対する助成を新設

● 四月齢以上の育成一〇、〇〇〇円(新設)

● 施設改修助成一六、〇〇〇円(新設)

(三)農協等の共同哺育育成センターが、地域酪農家との組織的な連携のもとに、ヌレ仔の哺育・育成を行ない、仔牛事故率の一層の低減を図る場合に助成。

● 肉用仔牛生産者補給金制度とリンクした四月齢以上の哺育・育成に対する助成を追加

● 二月以上哺育二、〇〇〇円

● 四月齢以上育成四、〇〇〇円

### (新設)

#### 二、経産牛対策

(一)経産牛の肥育及び繁殖利用を行う酪農家に対する助成

● 現行「酪農経営経産牛活用対策事業」について、従来の繁殖利用受精卵移植型の中に新たに乳廃牛以外の「経産牛」を追加する。

① 経産牛肥育 二〇、〇〇〇円

#### ② 繁殖利用

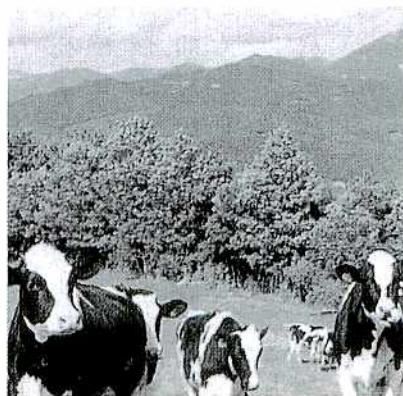
##### ア、受精卵移植型

(イ) 経産牛四三、〇〇〇円(新設)

(ロ) 乳廃牛六〇、〇〇〇円

イ、交雑種生産型八、〇〇〇円

(二)モデル施設における肥育及び繁殖(受精卵移植等新技術の利用)試験の実施



# 自分たちの組織を考える

農協青年部と農協職員との親睦、交流、自分たちの組織について考えようとする青年講座が、三月十九日農協大会議室で開催されました。

この青年講座、農協職員を交えての開催は昨年に引き続き二回目、まず、昨年全道青年部大会にて発表した組織事例発表「大地に根ざした青年部」を佐藤敏氏、杉本和玄氏、山下真二氏のスタッフにて披露、次に青年部、職員による内容自由の三分間スピーチが行なわれ、支部のかかえる問題、趣味を通して経営への活力へ、自分の経営の目標、組合員ニーズを基本に考えるAコープ、感性について、子供の求める親との触れ合いなど、さまざまなスピーチが行なわれました。その後は、メインであるテーブルディスカッションが、「青年部組織の抱える問題と今後のあり方」をテーマに討議され、各テーブルの発表者により集約発表されました。また、テーブルの発表者以外の部員や職員からも飛び入りで、青年部に対しての意見が多数出され、

## 目的を把握し、自覚ある活動へ



予定時間を一時間も超過する、大変盛り上がった青年講座となりました。特に集約意見の中で多かった事は、●自分たちの組織なのに、

自分たちの行なう事業に対し、目的をしっかりと把握し、自覚のもと活動しなければならぬ。これについては、新入部員の加入時に問題があるのではないかと誰でも良いから加入するのではなく、青年部の目的、意義を教え本人自ら希望して入会する事が望ましい。



●青年部の行なう事業、特に消費拡大事業については事業量が多すぎるという意見があったが、最終的には自分たちに何らかのメリツトが返ってくる、メリツトを求めると言う事を目的に行なわなければならない。その為には、事業ごとの反省をしっかりと行ない、次回に向けてのステップにしなければならぬ。今行なっている事業をやめてしまえば○であり、何も進歩がない、何か行動を起こして初めて反省も生じるのである。

●異業種交流の重要性が上げられる。農家も農協職員も同じ、自分の経営なり自分の部門を一生懸命やるのは当然の事、それ以外に農家は企業センスを養い、情報を吸収しなければならない、職員も縦の仕事流れと横の連携が重要。両者は最終的に、自分の経営のため、農協組織のため、そして豊かな生活を築くためである。

●事業の中で農政活動をもっと行なっても良いのではないかと。行政にお願いする事はばかり考えないで、自分たちが活動した結果、必要だからお願いし、逆に農協や、行政を引っぱって行くくらいの青年部にならなければいけない。

●青年部に入って良かった事もある。それは、地区を越えての仲間が出来た事、商工会青年部の人も含む。これは人生の中で一番の宝にしなければならぬ。また、この仲間作りから、色々な発想を事業に展開して行かなければならぬ。

以上の様な意見が集約されましたが、これらの内容を踏まえ、これからの事業活動に反映してほしいと思います。

# 疑問を基に経営の改善

- 経営改善研修会
- 平成4年度通常総会  
中標津町経営研究会



たくさんの会員参加のもと行なわれた研修会

中標津町経営研究会（高橋正一会長）では三月二十五日、経営改善研修会及び平成四年度通常総会を開催しました。

研修会では、我が家の経営改善をテーマに、参加者から経営内での問題点、これから自分の経営に活用して行きたい事などをコメントとして出してもらい、根拠農試・

内山専門技術員を助言者に、皆さんでディスカッションを行っていました。

特に近年乳牛飼養頭数が増える中、育成牛管理部門の問題が上げられ、施設、管理の効率化、労働力不足による依託管理などについて



真剣に聞き入る参加者

て討論されました。

午後からは、企業者から見た農業経営と題し、アズ・プラザ株式会社・藤田道昭氏、丸工精機㈱専務・小柳保氏を講師に企業マインド醸成研修会が行なわれ、この中で両者は、自分たちの考える企業感を実務での体験を通し話されました。その後、平成四年度の通常総会が開催され、提出された議案全件が原案通り承認され、新会長に松田吉正氏が選任されました。

平成四年度の活動計画では、簿記帳と経営診断分析の実施、現地研修会や営農技術向上研修会など、数多くの活動が予定されています。

## 共計でん粉



平成三年産共計でん粉の販売状況は、二月末仮配分累計一袋当り、一、三〇九円（前年同期一、二一七円）単価による進捗率は一〇七・六％と順調に販売されています。

また、価格は産地倉渡し三三、〇五〇円〜三、三二五円（前年同期三、四〇〇円〜三、五二五円）と若干安値となっています。

なお、馬鈴しょ澱粉と競合するコーンスターチは、一、九五〇円（一、九五〇円）となっております。

平成四年度農協事業計画を作成するに当り、組合員の皆様からご意見をいただくため、去る二月二十五日から三月六日にかけて地区別懇談会を開催いたしました。出席された組合員さんは、七地区で一〇九人でしたが、情勢が大きく変化していく中で、営農指導事業の強化に関するご意見、生産コスト



トを下げるためのご意見、特に生産資材価格を下げる工夫についての提案や要望が多くありました。

営農指導事業の強化については、各自の農業経営に合わせた営農相談技術指導の強化、人員、人材の強化、フリーストール方式導入に



指導については、行政の対応強化を要請すべきなどのご意見がありました。

また、中堅層の組合員さんからは、生産拡大で所得を確保している今日、これ以上戸当りの生産を

上げるとすれば、搾乳專業、育成專業、さらに牧草の収穫調整を一部請う業者などの專業、分業化による、規模拡大の道も研究模索してもらいたいという要望もありました。

生産コストを下げるためのご意見では、大型機械による堆厩肥の切り返し、積み込みなどの方策を考え堆厩肥の有効活用、澱粉粕の脱水強化による飼料としての活用配合飼料価格を引き下げするため入札方式を考えてはどうか、生産資材製品の直接輸入についてなどのご意見がありました。

その外、バルク、クーラの入れ替えと集荷運賃に関するご意見、管内住民大会のあり方など、情勢に対応していくための前向きなご意見、ご要望を数多くいただきました。

このことにつきましては、第十一回、第十二回理事会において検討され、そく対応できること、事業計画に盛り込むこと、また今後さらに協議検討を要することなど協議されております。

## 採用者紹介

平成四年四月一日発令により、職員新採用者の紹介をいたします。これから皆様よろしくお願い申し上げます。



長田 明  
購買部営農資材課生産資材係



麻郷地 一則  
管理部管理電算課管理電算係



田中 真由美  
管理部管理電算課管理電算係

# 理事会

## の経過

### 第十一回理事会

開催月日 三月十二日  
開催場所 農協中会議室

#### 〈議案〉

- 一、組合員の子告脱退及び出資金の減口について。
  - 二、共済業務規程の変更について。
  - 三、貸出業務規程の変更と関連職制規程の一部変更について。
  - 四、平成四年度組合員勘定供給限度の認定について。
  - 五、平成四年度各種資金の借入申込について。
  - 六、平成三年度贈与税納税猶予に係る納税保証について。
  - 七、なかしべつフーズ(株)に対する貸付金の利息軽減について。
  - 八、澱粉工場の固定資産取得について。
  - 九、中標津町農協の愛称とJAMAのマークの使用について。
- 以上審議され四号議案には一部保留者がありました。他案件は原案どおり決まりました。

#### 〈協議事項〉

### 第十二回理事会

開催月日 三月二十四日  
開催場所 農協中会議室

#### 〈議案〉

- 一、平成三年度収支決算見込と職員の手当支給について。
  - 二、平成三年度剰余金(見込額)の処分方法について。
  - 三、平成四年度事業計画(案)及び収支計画(案)について。
  - 四、組合員の加入、脱退、減口及び資格変更について。
- 審議され決まりました。

#### 〈協議事項〉

- 一、根室管内酪農技術研修講座の開設について。

- 一、平成三年度一月末における収支の期末見込みについて。
- 二、平成四年度、第一次収支計画について。
- 三、農機具巡回修理の体制について。
- 四、平成四年度酪農畜産政策価格対策運動について。
- 五、地区別懇談会の意見について。
- 六、畜産環境整備特別対策事業について。

#### 〈報告事項〉

- 一、総会までの日程について。
- 二、最近の酪農情勢について。

- 二、道営草地整備改良事業について。
- 三、平成四年度組勘供給認定保留者の経過について。
- 四、地区別懇談会の意見について。
- 五、集送乳事業毎日集荷について。
- 六、乳質自主規制ペナルティについて。
- 七、人工授精受付時間の改定について。
- 八、農協C.I.について。

#### 〈報告事項〉

- 一、平成三年度農業所得税の申告について。
- 二、その他  
真嶋部長の病状について。

## 人事異動のお知らせ

沓沢幸子

購買部生活店舗課店舗係(購買部営農資材課)  
四月一日発令

安達佳子

営農部開発振興課基盤整備係(管理部管理電算課) 四月一日発令

杉本巨子

営農部経営相談課経営相談係(管理部金融共済課) 四月一日発令

裏地勝信

北海道農業協同組合学校へ一年間修学(管理部管理電算課) 四月四日発令



岸本 さおり  
管理部金融共済課金融係



久保田 幸恵  
購買部生活店舗課店舗係



河合 はるみ  
購買部生活店舗課店舗係



保科 修  
購買部資材課営農生産資材係

# 暮らしの

## 知恵袋

北根室地区  
農業改良普及所

### ◎おいしい 野菜づくりの要点

野菜のおいしさは、味(風味)・歯ざわり、それに中味(成分)だと思います。

自分で丹精こめて作った野菜ならどれでも格別の味がするものです。ただし、少くとも次のことに十分心がけることが大切です。

#### 一、土づくり

- 野菜は、肥沃な土を好む作物です。すから、養分に富み、通気性、通水性、保水性のよい土地にする。
- ① 完熟堆肥を十アールに四〇程度施用する。
- ② 酸性ならPHを六・六、五に矯正する。
- ③ 深耕をする(ようりんを施す)

#### 二、品種選定

最近、品種がたくさん出回っ

ているので、好み、栽培目的で成熟日数、収穫時期などを考慮して、栽培しやすいものを選定する。



#### 三、施肥

- ① 肥料は良質な有機質肥料を組み合わせ、化学肥料を控え目にする。
- ② ほとんどの野菜は全面施用して、土と良く混和する。
- ③ 肥料のやり過ぎに注意する。特にチツソ質は品質低下を招く。
- ④ 追肥  
チツソとカリは追肥する。

### 果菜類の生育適温及び限界温度(°C)

作物	昼気温		夜気温		地温	
	最高限	適温	適温	最低限	適温	最低限
トマト	35	25~20	13~8	5	18~15	13
ナス	35	28~23	18~13	10	20~18	13
ピーマン	35	30~25	20~15	12	20~18	13
キュウリ	35	28~23	15~10	8	20~18	13
スイカ	35	28~23	18~13	10	20~18	13
メロン	35	25~20	15~10	8	20~18	13
カボチャ	35	25~20	15~10	8	18~15	13
イチゴ	30	23~18	10~5	3	18~15	13

◎ 葉菜類は種類ごとに異なるが、最高限界25°C、適温20~13°C、最低限界5°Cぐらいである。



#### 四、温度管理

野菜の種類で、生育適温が異なりますが、次の表を目安に調節すると大体よいでしょう。ただし、生育段階で限界が違苗のとき、開花のときなどは、特

に注意が必要です。

保温には、ハウス、トンネル、マルチ、パオパオ90などを使い、換気をして適温を保つようにします。

#### 五、病害虫防除

栽培環境を整えて、病害虫の発生をできるだけ押え、少農薬栽培無農薬栽培に心がけましょう。





# プラスアルファの イキイキライフ

つむぎ

## 特集① 脳力アップに役立つ

イキイキと生活を送るには、心身ともにリフレッシュすることが肝心です。スポーツをしたり、趣味に打ち込んだりするのも結構。でも、ときには何もしないことだって大切です。

やすらぎには、こんな力がある

近年、スポーツ界で、イメージトレーニングが注目されています。オリンピック選手のほとんどは、練習メニューの中にイメージトレーニングを取り入れ、成果を上げ

ているようです。このイメージトレーニングは、脳波と密接な関係があります。脳波は、アルファ波、ベータ波、シータ波、デルタ波の四つの波形に分けることができ、中でも最近何かと話題となるのが、アルファ波です。

アルファ波は、心が落ち着いて、安らいだ気分ときに現われます。「ひらめきの脳波」ともいわれ、頭にパッとアイデアがひらめいたときなど、この脳波が測定されます。また、アルファ波が現われると、記憶力や集中力も高まります。さらに、自己暗示やストレスコントロールにも大変役立つ脳波なのです。まさに、魔法の脳波といえます。オリンピック選手たちのイメージトレーニングの成果の秘密は、心身のリラククスにあります。リラククスすることで、アルファ波を引き出し、集中力を高め、勝利へのイメージを自分の心に焼きつけているのです。

アルファ波を味方にしよう

こんなにありがたいアルファ波

自在に引き出し、生活に役立てたものです。アルファ波を引き出すのは、難しいことではありません。心身ともに、落ち着いた状態をつくれればよいのです。そのためには、ヨガや座禅が効果的です。また、心が落ち着くような音楽を聞いているときにも、アルファ波は現われます。最近、ストレス解消のひとつとして有名になった自律訓練法もおすすめてです。自律訓練法とは、自己暗示をかけて心身の緊張をときほぐすもの。手軽にでき、コツを覚えれば、電車の中やオフィスなどでも簡単にできます。

まず、ゆったりと腰掛けるか、横になり、目を閉じてください。そして、「気持ちがとても落ちついている」と心の中で呟きます。次に、「両手、両足が重たい」と暗示をかけます。最初は利き腕から、一か所ずつ順番に行ないます。一通り終わったら、今度は、「両手、両足が暖かい」と暗示をかけます。これも利き腕から。ストロブの前にいる場面や、南の島にいる光景をイメージすると、感じがつかみやすいでしょう。

さあ、アルファ波を味方につけて、イキイキライフを送りましょう。

### 自律訓練法 腰掛けて行う場合



# 女性との出会いを求めて。



参加者全員でハイチーズ

**独身者交流スキーツアー**  
農協青年部独身者交流スキーツアーが、斜里町海別スキー場で開催されました。

この企画は、青年部員独身者に女性との交流場を設け、少しでも花嫁不足を解消しようというもの。今年、部員が一生懸命独身女性に参加を呼びかけたのですが、結

## 婦人部特製いもだんごは人気の的。

**中標津町婦人祭**  
去る三月二日、中標津町婦人祭が中標津町公民館で開催されました。この婦人祭は、町内に居住する婦人の交流場として毎年、年に一度開催されるもので、昨年に上回り今年には四百人も婦人が集まりました。

各サークルの作品展示や、各サ

局参加してくれた女性は四人と、(男性は十九人) ちよっぴり寂しいスキーツアーとなりましたが、今回参加した女性は初心者が多く、男性から色々アドバイスなどを受けたりと、昼食をおごってもらったりと、少ないながらも交流していた様です。また、スキー場にも女性客が多く、参加した男性の目を引く女性も何人かいたとか？

参加女性は少なかつたものの、スキー場での色々な出会いもあった様で、大成功とまではいかないまでも、成功に終わったスキーツアーでした。



なかなかスキーウエアも決まってる

ークルが中心となつて、参加者全員で歌ったり、ダンスやヨガも体験しました。また、大正琴の発表、人形劇など、大人から子供までが楽しめる事が出来ました。ひとつはショップでは、当農協婦人部特製いもだんごを販売。三十分程で完売するほど大繁盛でした。

# 今月の フォト



はい姿勢を正しく、ヨガ体操



おいしい特製いもだんごですよ

# アールズ

## てん菜育苗プラント稼働開始。

春の足音と共に今年も農協てん菜育苗プラントが、三月十二日から稼働が始まった。

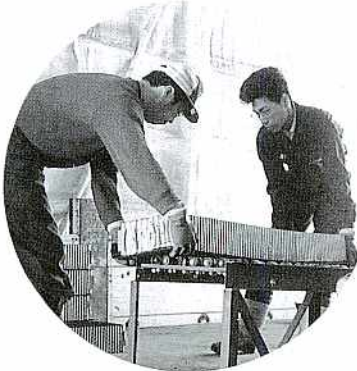
今年のでん菜作付面積は、約二百六十haで四月二日までの期間中、約一万三千冊のポットがこのプラ

ントで作られます。

朝早くから作業場内では、ガタガタ、バンバンと力強い機械音の中、手際良く作業が進められ、出来上がったポットはトラックに積み込まれ、耕作者のビニールハウスへと運ばれて行きました。今頃はかわいらしいビートの芽が、ハウスいっぱい広がっている事でしょう。



種子を入れたあと上に土をかけて出来あがり



出来たポットは耕作者のトラックに積まれる

## ボウリングで親睦交流。

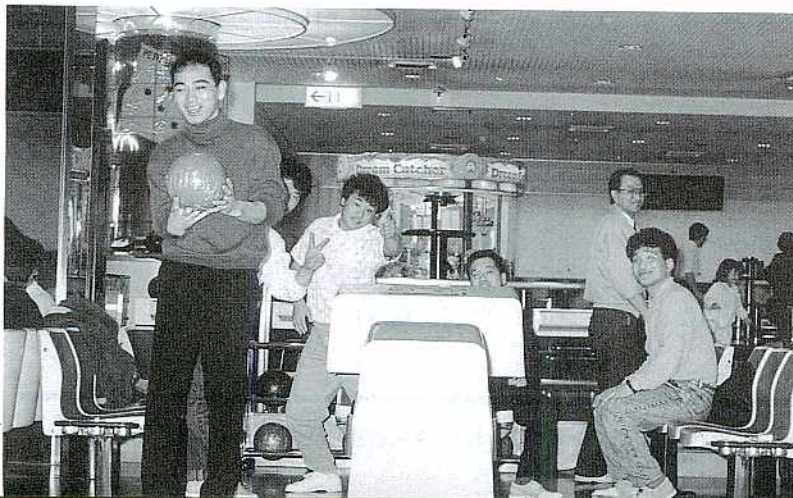
青年部家族親睦ボウリング大会  
青年部レクリエーション委員会  
企画による、家族親睦ボウリング  
大会が、三月十一日ウコウボウル  
を会場に開催されました。  
税金の申告、家事の都合などで  
参加者は三十六人と少なかったも



オットこれはストライクかな？

の、参加した部員や奥さんはそれぞれ楽しく親睦、交流を深めて  
おりました。結果は次の通りです。  
男子一位 竹村 聡（五五二）

- |      |            |
|------|------------|
| 二位   | 連田 尚弘（五四八） |
| 三位   | 福嶋 剛（四九一）  |
| 女子一位 | 佐藤 明美（三七八） |
| 二位   | 高藤 弘美（三六〇） |
| 三位   | 真野 由佳（三三六） |



よし、次はストライクだ

## 3月の 組合日誌

- 9日 管理購買委員会
- 9日 海外研修委員会
- 10日 営農委員会
- 10日 哺育組合役員会
- 11日 SCM利用組合設立総会
- 12日 第11回理事会
- 13日 役員報酬審議会
- 18日 営農委員会
- 19日 酪農委員会
- 23日 管理購買委員会
- 24日 第12回理事会
- 25日 乳牛改良同志会役員会
- 28日 第3回中標津ジュニアホル  
スタインクラブ総会
- 31日 棚卸監査



グリーンショップ

恒例

# ばか値の春一番 展示即売会

4/22(水)23(木) 午前9時から  
ところ A コープ向い駐車場



## 農協文庫の紹介

**実例 バイテク農業**  
植物バイオテクノロジーの活用化に成  
功した農家・農協・企業などの取り組み  
を紹介し、「バイオテク農業」による技術と  
経営の確立策を探る。  
大沢勝次・田村賢治著

**フリーストール**  
○フリーストールの計画・設計・建設  
○乳牛グループ管理の考え方  
伊藤絃一著

## 第45回 通常総会のお知らせ

第45回、中標津町農業協同組合通常総会が、平成4年5月2日(土)午前10時「寿宴」を会場に開催致します。

総会は皆さんの意志を結集し、協同の力を発揮する重要な場です。組合員皆様全員の出席をお待ち申し上げます。

## 編集後記

長かった今年の冬も過ぎ去り、ほかに春を感じる今日この頃。組合員皆さんにとっては税金の申告も終わり、やつと一息という所でしょうか？

しかし一息つく間もなく始まった農民春闘の乳価交渉も、ガット・ウルグアイ・ラウンドの影響で、加工原料乳保証価格は据え置きという結果で幕を開けた新年度です。ただ、関連対策費の中で予算が計上され、農家収入的には多少なりとも上がる様ですが、逆に牛肉価格については、輸入牛肉の関税率が下がる為に、初生トク価格は下がるという状況になりそうです。

農協も四月から新年度に入りますが、四月一日から全国の農協がJAの愛称に変わり、中標津町農協もJA中標津町となりました。これは、二十一世紀へ向けての国際化に対応できる新しい農協作りを目指すものですが、たとえ愛称が変わっても、中味がすぐ変わるものではありません。これには組合員皆さん、職員一人一人が新しい時代に向け、変わっていかねければならないのです。これから来るであろう益々厳しい時代に打ち勝っていくためにも。